



# BUSINESS REPORT

## 第73期 年次報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

### TOP INTERVIEW

創造と変革をめざして、新たな舞台へ  
セグメント別業績概況

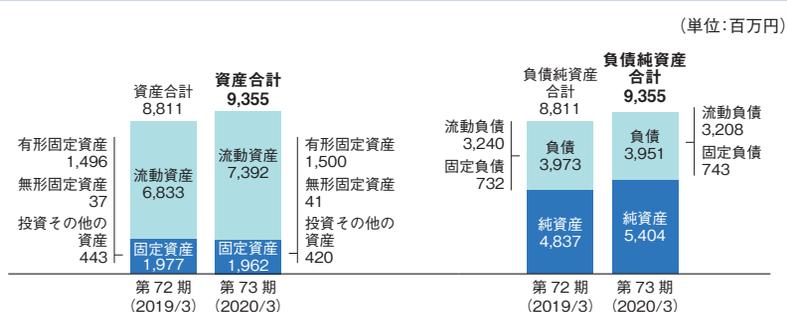
### NEW TOPICS

- 1 設立70周年を迎えました
- 2 剰余金の配当に関するお知らせ
- 3 四国駐在所開設

会社概要、株式情報、役員の状態、配当方針・実績、株主メモ

新型コロナウイルス感染症の対応状況及び業績の見通しについて

### 財政状態

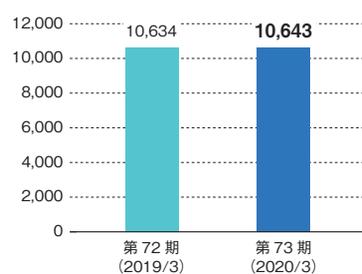


### 業績のポイント

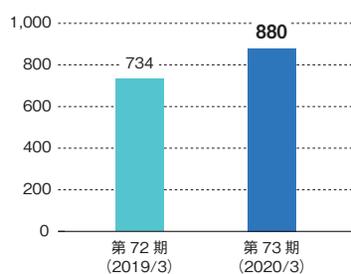
- 1 業績が好調であった前期を上回り増収増益となり、2年連続での売上高100億円を達成いたしました。
- 2 販売費及び一般管理費は増加しましたが、工事原価が減少したことにより、営業利益は、前連結会計年度比19.9%増の880百万円となりました。
- 3 設備補修ニーズの高まりにより、工事施工事業が好調で業績に大きく貢献いたしました。

### 経営成績

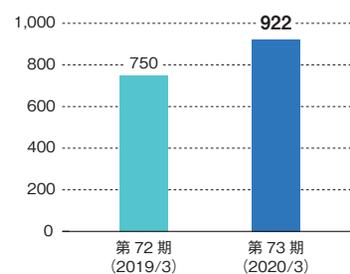
売上高 (単位:百万円)



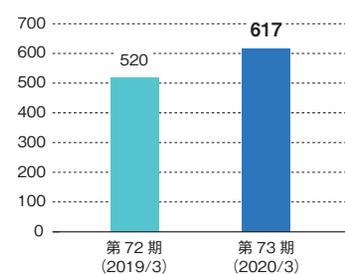
営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益  
(単位:百万円)



TOP INTERVIEW

# 創造と変革をめざして、新たな舞台へ

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より、当社の事業につきまして格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第73期(2020年3月期)年次報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

2020年6月



代表取締役社長  
上林 克彦

## Q 第73期(2020年3月期)の事業環境と業績についてお聞かせください。

第73期は、業績が好調であった前期を上回り、当連結会計年度の売上高は10,643百万円(前連結会計年度比0.1%増)となりました。損益面におきましては、営業利益は880百万円(同19.9%増)、経常利益は922百万円(同22.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は617百万円(同18.6%増)となりました。

セグメント別に見れば、工事施工事業が好調で、売上高は7,403百万円(前連結会計年度比10.7%増)、セグメント利益は1,136百万円(同36.6%増)となり、業績に大きく貢献いたしました。

## Q 2年連続で売上高100億円を達成された要因を教えてください。

前期は、工事施工事業の堅調な推移に加え、環境関連装置事業が好調であり、売上高100億円を達成することができました。第73期は、環境関連装置事業の売上が減少することが見込まれておりましたので、売上高100億円達成は厳しいと考えておりましたが、お客様の設備補修ニーズの高まりにより、工事施工事業が大きく売上を伸ばすことができました。また、2019年4月1日に営業本部と工事本部を一体化させる組織の再編を行いました。各営業本部に工場を組み入れることで、営業と工場のコミュニケーションの円滑化、情報の共有化、ミスの撲滅などが図れ、技術力の向上、営業力の強化に繋がり、売上拡大やコスト削減に繋がったと評価しております。



## Q 第74期の見通しと取り組みや計画をお聞かせください。

当社は従来より「景気に左右されない経営基盤」の構築を掲げており、第74期につきましても、それに全力で取り組んでまいります。現時点では、新型コロナウイルス感染症による当社グループの事業活動及び経営成績に与える影響を合理的に算定することが困難であるため、通期の連結業績予想値などの今後の見通しについては、ご報告を見送っております。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに株主の皆様には、適時開示などを通じてご報告いたします。

先行きが不透明な状況ですが、オリジナリティある製品や技術、誠実な対応により「技術のトクデン」の浸透を図り、成長を続けられるよう努力してまいります。

株主の皆様には、何卒ご理解を賜り、引き続き深いご支援、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

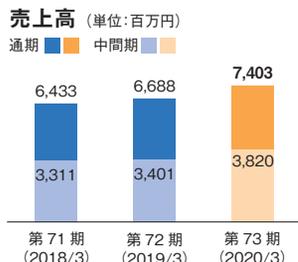
## セグメント別業績概況

### 工事施工



●売上高  
**7,403**百万円  
前期比 10.7%増

●セグメント利益  
**1,136**百万円  
前期比 36.6%増



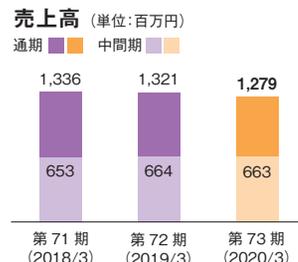
積極的な提案型営業と高度技術の提供、徹底したコスト削減の実行により、受注拡大に努めました結果、アルミダイカスト関連工事、トッププレート工事、プラズマ粉体肉盛工事、連続鑄造ロール肉盛工事、鉄鋼関連の保全工事の受注が増加したことにより、売上高は7,403百万円(前期比10.7%増)、セグメント利益は1,136百万円(同36.6%増)となりました。

### 溶接材料



●売上高  
**1,279**百万円  
前期比 3.2%減

●セグメント利益  
**194**百万円  
前期比 9.5%増



直販体制の優位性を活かし、新規顧客の開拓と既存顧客の更なる深耕による販売力強化に努めました結果、当社の主力でありますフラックス入りワイヤなどの製品の売上高は529百万円(前期比9.8%増)となりましたが、商品のアーク溶接棒、TIG・MIGなどの溶接材料の売上高は750百万円(同10.7%減)となり、溶接材料の合計売上高は1,279百万円(同3.2%減)、セグメント利益は194百万円(同9.5%増)となりました。

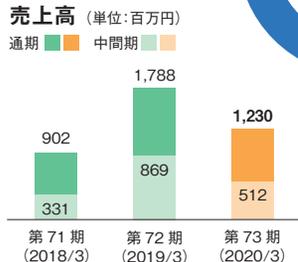


### 環境関連装置



●売上高  
**1,230**百万円  
前期比 31.2%減

●セグメント利益  
**182**百万円  
前期比 34.7%減



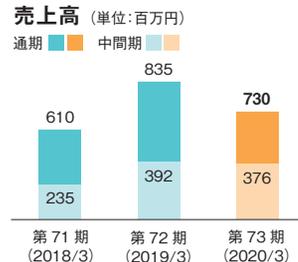
自動車産業用金型加熱装置の受注は増加しましたが、自動搬送車(AGV)による搬送ライン装置、自動車産業用粗材冷却装置等の受注が減少したことにより、売上高は1,230百万円(前期比31.2%減)、セグメント利益は182百万円(同34.7%減)となりました。

### その他



●売上高  
**730**百万円  
前期比 12.6%減

●セグメント利益  
**45**百万円  
前期比 18.4%減



自動車関連のダイカストマシン用部品の受注が減少したことにより、売上高は730百万円(前期比12.6%減)、セグメント利益は45百万円(同18.4%減)となりました。

## NEW TOPICS

# 1 創造と変革を目指して70年 特殊電極は、おかげさまで設立70周年を迎えました。



## HISTORY of TOKUDEN

## 設立

1950年(昭和25年)

### 先人たちが築いたトクデンの礎

特殊電極株式会社設立

1955年(昭和30年)

溶接工事開始

1964年(昭和39年)

溶接棒カタログ創刊

1977年(昭和52年)

会社更生手続き開始



1963年本社新社屋落成



1964年溶接棒カタログ創刊

## 拡大

1981年(昭和56年)

フラックス入りワイヤの製造販売を開始

1981年(昭和56年)

PTA溶接装置の製造販売を開始

1983年(昭和58年)

ダイカスト関連工事の受注を開始

1986年(昭和61年)

トッププレートの製造販売を開始

1987年(昭和62年)

現地加工工事の受注を開始



1981年フラックス入りワイヤの製造販売を開始

## 飛躍

2003年(平成15年)

環境関連装置の販売を開始

2006年(平成18年)

ジャスダック証券取引所(現東京証券取引所 JASDAQ スタンダード)に株式上場

2013年(平成25年)

タイ国バンコク市にTOKUDEN TOPAL CO., LTD.設立

2017年(平成29年)

中国江蘇省南通市に特電佐鳴(南通)機械製造有限公司設立

2019年(平成31年)

売上高100億円達成

2020年(令和2年)

会社設立70周年



2006年JASDAQに株式上場



2017年特電佐鳴(南通)機械製造有限公司 設立



1981年PTA溶接装置の製造販売を開始



1986年トッププレートの製造販売を開始

2020年1月、特殊電極株式会社は、おかげさまで設立70周年を迎えました。

当社は、1950年1月26日に特殊アーク溶接棒のメーカーとして設立されて以来、幾多の困難を乗り越えつつ、70年の長きにわたって、その歴史を刻んできました。

1977年には会社更生手続きを行うも、先輩方の頑張りにより苦難を乗り越え、その30年後には株式上場を果たすまでになりました。そして今年度、2年連続での売上高100億円を達成いたしました。

当社は、この波乱万丈の70年間で奇跡的な復活と事業の拡大を実現し、業界の中でトクデンブランドを確立し、多くの企業から信頼を獲得しています。このような強い会社をつくり、独自の技術力によって、未来をつくり出すことができるのも、ひとえにお客様からの信頼、トクデン社員の頑張り、そしてなにより皆様からのご支援があったからに他なりません。皆様の当社への長きにわたるご支援に心から感謝するとともに、今後ますます尽力いたす所存でございますので、株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

代表取締役社長 上林 克彦

## 2 剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題の一つと考え、業績の状況、今後の事業展開等を勘案して安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

新型コロナウイルス感染症拡大による影響が様々なところに出ており、先行き不透明な状況ではありますが、2020年3月期(当期)の期末配当金につきましては、設立70周年を迎えることができましたので、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表するとともに、業績の状況ならびに今後の事業展開を勘案の上、普通配当35円に記念配当5円を加え、1株当たり40円とさせていただきますことといたしました。

## 3 四国駐在所開設

2020年4月1日に、香川県丸亀市に四国駐在所を開設いたしました。

住所：〒763-0053

香川県丸亀市金倉町1969-1 夢タウンウエストB棟

TEL：0877(85)6486

FAX：0877(85)6487

当社は、顧客密着型営業の推進ならびに直販体制の堅持に努めておりますが、更なる対応力の強化を目的とし、従来、拠点のなかった四国地方に駐在所を開設いたしました。既存得意先の更なる深耕による新規案件の開拓を積極的に進めてまいります。

## 会社概要

(2020年3月31日現在)

会社名 特殊電極株式会社  
TOKUDEN CO., LTD.

設立 1950年1月26日

資本金 484,812,500円

本社所在地 兵庫県尼崎市昭和通2丁目2番27号

主な事業内容 特殊溶接工事の施工、特殊溶接材料の製造販売ならびに  
各種産業用機械装置等の製造販売を主な事業としております。

従業員数 240名

## 株式情報

(2020年3月31日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数 2,604,000 株

発行済株式総数 801,000 株

株主数 499 名

## 所有者別分布状況



株主種別	株主数	割合
個人・その他	440名	(88.2%)
証券会社	12名	(2.4%)
金融機関	4名	(0.8%)
外国人	12名	(2.4%)
自己名義株式	1名	(0.2%)
その他の国内法人	30名	(6.0%)

## 大株主(上位12名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社ブロードピーク	132,300株	16.73%
特殊電極従業員持株会	60,200	7.61
株式会社光通信	54,000	6.83
大野昌克	19,000	2.40
坂西啓至	17,000	2.15
宮田純子	17,000	2.15
福田博	16,800	2.12
坂地一晃	15,000	1.89
坂本浩司	15,000	1.89
樋口豪也	15,000	1.89
株式会社関西みらい銀行	15,000	1.89
株式会社みなと銀行	15,000	1.89

(注)持株比率は、自己株式(10,453株)を控除して計算しております。

※この年次報告書の記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 役員の状況

(2020年6月24日現在)

代表取締役社長	上林克彦
取締役	榎本美喜 工事営業本部長
取締役	太田浩二 尼崎工場長
取締役	外崎敬一 社長室長
取締役	島田宏亮 第一営業本部長
取締役	西川誉 第二営業本部長
常勤監査役	北正己
監査役	藤田寛
監査役	濱田雄久

(注) 監査役 北正己氏及び濱田雄久氏は、社外監査役であります。

## 配当方針・実績

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題の一つと考え、業績の状況、今後の事業展開等を勘案して、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

	1株当たりの配当金		
	中間	期末	年間
第70期(2017/3)	35.00円	35.00円	70.00円
第71期(2018/3)	35.00円	35.00円	70.00円
第72期(2019/3)	35.00円	40.00円 内訳 (普通配当 35.00円) (特別配当 5.00円)	75.00円 内訳 (普通配当 70.00円) (特別配当 5.00円)
第73期(2020/3)	35.00円	40.00円 内訳 (普通配当 35.00円) (記念配当 5.00円)	75.00円 内訳 (普通配当 70.00円) (記念配当 5.00円)

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	(1)定時株主総会・期末配当 3月31日 (2)中間配当 9月30日
単元株式数	100株
上場取引所	株式会社東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先(電話照会先)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。 ホームページ <a href="http://www.tokuden.co.jp">http://www.tokuden.co.jp</a>
未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である 三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 新型コロナウイルス感染症の対応状況及び業績の見通しについて

当社グループは、日本及び各国の政府並びに各自治体や行政機関の方針等に  
従い、従業員とその家族はもとより、お取引様の生命・健康を最優先に考え、感染リ  
スクの軽減と安全確保を図り、円滑な事業活動を継続するため、情報収集と状況  
に応じた対策を迅速に実施してまいります。

なお業績の見通しにつきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症拡大が  
当社グループの事業活動及び経営成績に与える影響を合理的に算定できないた  
め、通期の連結業績予想値の開示を見送っております。今後、合理的な予想が可  
能となった時点で速やかに開示いたします。



特殊電極株式会社

本社 兵庫県尼崎市昭和通2丁目2番27号  
TEL:06(6401)9421/FAX:06(6481)7853  
ホームページ <http://www.tokuden.co.jp/>

